

令和 3 年度の事業報告書

平成 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人博心館
理事長 加藤博彦

1 事業の成果

令和 3 年、こども塾は児童登録者数 57 名（b&g 対象児童 21 名）でスタートし、期末は 65 名（b&g 対象児童 26 名）となった。昨年度に比べ児童数は増加し、b&g 対象児童についての目標を 15 名と定めていたため目標達成となった。

塾では子どもたちの自己肯定感、非認知能力向上を目的とし、宿題のサポートは毎日行い、書道・絵画・ヨガなどの独自プログラムや、「ライオンズクエスト」、屋外課外授業を定期的に行った。

夏休み冬休みの長期休暇には、新型コロナウイルス感染症対策の為に、計画していた内容通りには実行できなかったが、武雄市の県立宇宙博物館やデイキャンプ、海水浴、農園体験などの課外活動を行った。また協調性などの非認知能力の向上を目的に屋内を中心にプログラムを行った。なお、夏祭り、餅つきなど例年開催されていた地域イベントは新型コロナウイルス感染症対策として当年度も中止になり参加できなかった。

結果として、子どもたちとスタッフの距離も縮まり、子どもたちにとって当塾が第三の居場所として安心できる場になっていると思われる。

スタッフは、教員経験者、児童支援員経験者を含むパートは引き続き在籍し、増員含めて 2022 年 3 月末現在 18 名となり子どもを見守る体制が維持できている。

よく話を聞き寄り添うことを念頭に見守りを行い、これが自己肯定感向上に重要で、非認知能力向上にとっても大切な要素であると考えます。

スタッフが充実していることにより、以前に比べ格段に子ども一人一人に関わる時間が増えた。そして子どもたちと深く接する事により、環境に課題を抱えている子どもたちに対しては通常の対応では不十分である事もわかってきた。今後は子ども一人一人を取り巻く課題を明確にし、どのように対応すべきかを皆で十分に検討し対応していくよう努めている。

また学力学習の面でも今よりも積極的に関わっていき、子どもたちのさらなる自己肯定感の向上に努めている。

当塾は、シングル家庭および経済困窮環境下の子どもたち（b&g 対象児童）が得ることが困難と考えられている社会的相続を補完することを目的としている。

子どもを取り巻く環境の違いによる「様々な社会的格差」をなくすため

よりたくさん子どもたちが当施設を利用できるよう効果的な対策を考えていきたい。

なお、2021 年度で日本財団からの補助金が終わることにもない、2022 年度からの事業移管に向けて行政との交渉を行った。

食事の提供について、現在子どもたちの昼食利用希望者は 5 割程度である。

全般的に塾事業としては、運営体制も整い事業内容も確立していると感じている。新型コロナウイルス感染症対策も継続している。今後も適時改善をしながら利用者に対しより充実安定したサービスが提供維持できる体制を整えていきたい。

ただ塾生増加に伴い、子どもたちの心の問題や運営上の問題などいくつかの解決すべき課題も明

らかとなっている。また 2022 年度からは日本財団からの助成もなくなるため、事業維持のための収入手段も課題となっており、対策を考え行動している。

現在将来の収入源としては、塾事業による収入、食堂事業による収入、地域企業からの事業収入（広告等）、行政からの支援、ふるさと納税等の活用を考えている。

食堂事業の地域住民を対象とした持ち帰りメニューについては好評で、今後も子どもから年配者まで広く利用できる地域食堂としてテイクアウトに注力し、保護者をはじめとして地域へ広報を行い利用者を増やしていきたい。

他には、子ども達による子どものための地域情報発信事業を企画し、企業広告収入獲得を検討している。今年度はこのような地域住民を対象とした事業を確立し、持続可能なまちづくりの一助となる NPO として周囲に認知してもらえるよう活動し、今後の事業収入につなげていきたいと考えている。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の支出金額 (単位:千円)
①子どもの貧困対策に関する事業	<u>1-1 こども食堂および学費援助事業の検討</u> :夕食提供は利用が無かった。昼食は延べ1,094名が利用した。 <u>1-2 子どもの第三の居場所事業</u> :当初57名(内、当該事業対象児童21名)→期末65名(内、当該事業対象児童26名)。	(A)通年 (B)博心館 (C)従業員18名 ボランティア27名	(D)唐津市内の児童 (E)65名	3,005
②学力・人間力育成に関する事業	<u>2-2 こども塾の開催</u> <u>2-1 人間力育成講座の開催(論語などの古典学習指導)</u> <u>2-3 日本の伝承あそび継承事業(コマ、羽つき、将棋等)</u> <u>2-4 日本の伝統文化に触れながら日本人の精神を継承する活動</u> <u>2-5 子どもの学習能力向上のための専門家による学習指導</u> <u>2-6 各種体験学習(実験、工作、屋外、農業体験)</u>	(A)通年 (B)博心館 (C)従業員18名 ボランティア27名	(D)唐津市内の児童 (E)65名	11,432
③子育て応援に関する事業	<u>3-1 子ども及び当団体関係者の発育健康啓発活動</u> <u>3-2 ひとり親家庭の親(特に母親)の事業参画への呼び掛け</u> <u>3-3 放課後児童健全育成事業</u> 3-1、2は、実施しなかった。 3-3は2-2として実行した。	(A)通年 (B)博心館 (C)従業員18名 ボランティア27名	(D)唐津市内の児童 (E)65名	0
④国際交流に関する事業	<u>4-1 国際交流や語学学習を通し、唐津在住の外国人家庭の支援や子どものグローバル化に対応できる教養を支援</u> <u>4-2 外国人家庭の子弟との交流</u> <u>4-3 在住外国人、訪日外国人に対する便宜増進を図る事業</u> 4-1、4-2、4-3は、実施しなかった。	(A)通年 (B)博心館 (C)従業員18名 ボランティア27名	(D)唐津市内の児童及び外国人家庭 (E)65名	0

⑤ 地域コミュニティの醸成に関する事業	<u>5-1 地域コミュニティを醸成するイベント等に参加し、地域の活性化に寄与。</u> 地域イベントが、新型コロナウイルス感染症の為に開催中止になり、参加できなかった。 地域児童へ参加を募り人形浄瑠璃体験事業を行った。	(A)通年 (B)博心館 (C) 従業員 18 名 ボランティア 27 名	(D)唐津市内の児童 (E) 65 名	146
⑥ 他団体の活動支援に関する事業	本年度は実施なし	—	—	—
⑦その他、会の目的達成のために必要な事業	<u>7-1 活動に伴う広告</u> <u>7-2 食堂事業、買物代行事業</u> 7-1 は、実施しなかった	(A)通年 (B)博心館 (C)従業員 18 名	(D)唐津市 (E)唐津市民	3,385